

平成27～29年度群馬県教育委員会指定  
「ぐんまの子ども体力向上推進事業 体力向上推進モデル校」

## 鬼遊び ～神明小学校2年 体育科 ゲーム～



体育指導コーディネーターは、小学校教員の体育科授業の資質向上を図るために、低学年教員向けの「体育だより」を不定期に発行しています。



今回は、「体育だよりNo1」で紹介した鬼遊びの内容について、神明小学校の2年生のクラスで担任の塚本先生とのチームティーチングによる授業実践をしました。



「ねことねずみ」の活動について、井出先生から「先生の声をよく聞いて素早く動けたね。」と評価して貰いました。子どもたちは、たくさん走って疲れていますが、とっても嬉しそうです。



活動2の「しっぽとり鬼」は、「相手の動きに応じて、素早く動こう。」がめあてです。ルールや活動の場がレベルアップすることで、子どもたちは、さらに意欲的に運動に取り組んでいました。

平成28年 5月26日(木)

指導者：塚本 牧子 教諭（神明小学校）  
井出 昌文 コーディネーター



本時は、6時間扱いの2時間目。活動1で「ねことねずみ」の鬼遊びをおこない、活動2でルールレベルが上がる「しっぽとり鬼」をおこないました。

「ねことねずみ」は、「よく聞いて素早く動こう」がめあてになります。子どもたちは、指導者の「ねーねー...」の声から、「ねこ」と言うか「ねずみ」と言うかをよく聞いて、機敏に反応していました。



子どもたちは、体育館の中を何度も元気に走り回り、十分な運動量を確保しながら、めあてに向かって楽しそうに活動できました。授業を進める担任の役割と、専門的な指導やアドバイスをおこなうコーディネーターの役割が明確な授業でした。

「体育だより」で紹介された「鬼遊び」の単元では、いくつかのゲーム指導の示範をしていただきました。

担任がはじめて指導をするゲームでしたが、示範をしていただいたおかげで児童の動きがどうなるかを見ることができました。

その後の授業で、担任がはじめて取り入れたゲームもありましたが、自信を持って指導することができました。



2年1組担任 塚本 牧子 先生